



産業用インクジェット
プリンタ (小文字用)
Sasko Bakeries の
用途事例



Sasko Bakeries では Videojet 1000 シリーズプリンタに よって印字内容の切り替え時間を 削減しています。

Sasko Bakeries は 1930 年代初頭に設立された長い歴史のある企業です。現在は南アフリカ第 2 位の大手食材メーカーである Pioneer Foods の傘下にあります。Sasko は、南アフリカに最新の製パン所を 15 ヶ所持つ南アフリカの製パン業界で中心的な役割を果たすメーカーの一つです。

Sasko Bakeries では、パンを 1 斤ごとに形成済みビニール袋で包装し、プラスチックの留め具で口を密閉します。2 年前まで、製品の留め具に 1 つ 1 つにホットスタンプを印字していました。ホットスタンププロセスで印字できる情報量は非常に限られており、印字内容の切り替えに長時間かかり、その間包装ラインを止める必要がありました。Videojet 1000 シリーズプリンタを導入後は、印字内容の切り替えが非常に簡単になりスピードアップしました。同時に Sasko の工程で印字スループットを向上させることができました。

「Videojet 1000 シリーズプリンタを使って 2 年たちますが、ビデオジェットと Molenaar 社が当社の期待を裏切ることはありませんでした。プリンタで切り替え時間が削減できて使いやすく、厳しい環境でもスムーズに動作しています。」



Sasko Bakeries の国内業務マネージャ: Anton de Leeuw 氏

Videojet 1000 シリーズプリンタによって、Sasko では印字内容の切り替え時間を削減し、印字の柔軟性を高めることができました。



袋の留め具のホットスタンプは、消費者が商品棚から製品を取り出してからしか賞味期限の印字が確認できなかったのも、消費者にとっては不便でした。賞味期限の印字場所を変更しようとしたのですが、ホットスタンプでは袋に直接印字できませんでした。

Sasko は生産ライン全体で 1 日に 1 回印字内容を変更します。ホットスタンプでは、加熱されたブロックに金属スタンプが留められ、スタンプはジョブが新しくなるたびに新しい印字データを反映するために手で取り替える必要がありました。

スタンプを変更する際には、プリンタを冷却してその後にウォームアップする必要があるため、ジョブ変更に伴うデータ更新には長い時間がかかりました。スタンプを繰り返し切り替えると、スタンプが摩耗したり破損する原因になり、印字品質が頻繁に低下します。さらに、オペレーターが誤ってスタンプを挿入したり、誤植をしたり、スタンプを紛失するというような人為的なミスが発生しがちです。このようなミスはすべてダウンタイムの原因となります。

南アフリカのビデオジェットの代理店業者の 1 つ、H.G.Molenaar は、Sasko に対して産業用インクジェットプリンタ (小文字用) の印字ソリューションにアップグレードすることで、袋の留め具にホットスタンプで印字する代わりに、袋に直接印字する方法を提案しました。

さらに、食品のトレーサビリティを管理する新しい法規制により、消費者がプラスチックの留め具をなくして印字情報が失われるような事態にも対応する必要性が出てきました。Molenaar は、パンの袋の上に印字すること

で、印字の耐久性が保たれるだけでなく、お客様が商品棚にある状態で商品の消費期限を確認できるようにすることを提案しました。

Sasko は Molenaar の提案に興味を持ち、Videojet 1000 シリーズプリンタを 1 台トライアル使用することにしました。デモンストレーションの結果、Sasko では Videojet 1000 シリーズプリンタを 3 台購入し、製造ラインに設置することになりました。Sasko はプリンタを 3 ヶ月間使用して十分にテストを行いました。

「製パン所の暑さは過酷です。そんな中でも十分に機能するソリューションが必要だったので、Videojet 1000 シリーズプリンタはその条件を満たしました。Molenaars は業界での実績が豊富で、長年の間評判がよかったので、Videojet 1000 シリーズプリンタをすべての製パン所で購入し、設置することを決めました。」

国内業務マネージャ:
Anton de Leeuw 氏



袋の留め具の部分だけに賞味期限情報を入れようとする、印字情報を増やそうと考えた場合、大きな留め具が必要となります。残念ながら、大きな留め具でもまだ印字に制限がありました。現在はビデオジェットの産業用インクジェットプリンタ (小文字用) ソリューションに移行することで、直接袋に印字して、賞味期限の日付、ロットや生産の情報を 2 行にわたって印字できるようになりました。袋に印字することで、販促情報などより多くの内容を印字する柔軟性も得られました。また、留め具のみに限定して印字していたときと異なり、袋のどこにでも印字できるようになって選択の幅が広がりました。

Sasko が新しい Videojet 1000 シリーズプリンタを採用したことで得られた主な利点の一つは、簡単で使いやすいインターフェイスです。

Videojet 1000 シリーズプリンタは、直観性に優れたインターフェイスにより毎日の作業を合理化できます。このインターフェイスにはすべてのプリンタ操作情報が表示され、さらに、印字内容のプレビューが画面上で確認できます。

「15 ヶ所の製パン所では、200 名の従業員が毎日プリンタに接しています。全員が問題なくプリンタを操作できるということは、非常に大切なことです。直感的なインターフェイスで、プリンタの使い方が誰にでも簡単にわかります。」
(de Leeuw 氏)

このインターフェイスは、Sasko にもう一つのメリットをもたらしました。Sasko の製造工程では必要に応じて印字内容を変更できる柔軟性が必要でした。ホットスタンプでは、印字内容を毎日プリンタごとに手で変更する必要がありました。「賞味期限の日付を自動的に変更する機能がプリンタに必要だったんです。今は印字内容をとても簡単にすばやく切り替えることができるようになりました。」
(de Leeuw 氏) Videojet 1000 シリーズはこの問題も解決し、Sasko のオペレータが印字内容を手で変更する必要がなくなりました。

「産業用インクジェットプリンタ (小文字用) の購入を検討していたとき、まず心配だったのは、インクで製パン所が汚れるんじゃないかということです。」(de Leeuw 氏)従来のインクジェットプリンタやメイクアップボトルでは、設備周辺やオペレーターの手にもインクの汚れが付くという問題点がありました。しかし、密閉された Smart Cartridge™ (スマートカートリッジ) 設計を採用した Videojet 1000 シリーズプリンタでは、このようなことはありません。内蔵式の Smart Cartridge 溶剤供給システムでは、プリンタインクとメイクアップの供給方法が大きく変わり、実質的に漏れがなくなり、インク袋内蔵の設計により各カートリッジで溶剤を使い切ることができるようになっています。また、内蔵マイクロチップで正しい溶剤が使用されていることが確認できるので、溶剤に関連するミスが実質なくなります。

「Videojet 1000 シリーズでは、製造現場を汚すことなくクリーンに保てることを確認できました。インクやメイクアップが空になったときも、カートリッジを取り替えるのがとても簡単です。」と de Leeuw 氏は述べています。

さらに、Videojet 1000 シリーズを使用することで、Sasko は予防メンテナンス作業を行う間隔を長くすることができ、的確な時期にメンテナンスが計画できるようになりました。

「Videojet 1000 シリーズプリンタではトラブルは発生していません。」(de Leeuw 氏)従来の産業用インクジェットプリンタでは、停止の原因となる可能性があるインクの詰まりが発生しましたが、ビデオジェットの CleanFlow™ (クリーンフロー) プリントヘッドはそのような詰まりを軽減します。そのため、Videojet 1000 シリーズプリンタではクリーニングの頻度を減らせるので、稼働時間を延ばすことができます。

「当社では、Molenaar 社 とビデオジェットからの協力体制によって非常に良い成果をあげることができました。Videojet 1000 シリーズは優れた製品です。ですから、新設の包装ラインにも Videojet 1000 シリーズプリンタを新たに購入しました。これから新しいプリンタで作業するのが楽しみです。」(de Leeuw 氏)



TEL: 0120-984-602
E-mail: info@videojet.co.jp
URL: www.videojet.co.jp

ビデオジェット社
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10
テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2015 Videojet Japan — All rights reserved.

ビデオジェット社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。

20151022

 **VIDEOJET.**